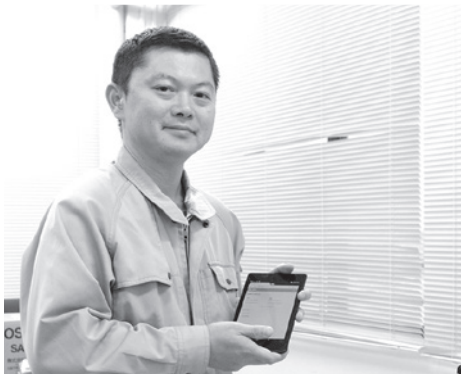


ハロートレーニング

ものづくりを支える訓練施設を知っていますか？



国が提供している「ハロートレーニング」(公的職業訓練)には、学校卒業生等向けの訓練(学卒者訓練)があります。今回は、学卒者訓練の種類やその内容、実際に受講した人の声などを紹介するとともに、指導する側(職業訓練指導員)になる方法も説明します。

**1万8000人が受講
就職率は約97%**

学卒者訓練には、普通課程・専門課程・応用課程の3種類があります。

普通課程は、中学・高校卒業生などを対象に、都道府県立職業能力開発校で実施します。地域の実情に応じて、地域産業に必要な多様な技能・知識を持つ労働者を養成するのが目的で、OA事務科、機械加工科、自動車整備科、木造建築科などがあります。訓練期間は1〜2年間で、受講料は各都道府県で定めています。

専門課程は、高校卒業生などを対象に、(独)高齢・障害・求職者雇用機構の職業能力開発大学校・職業能力開発短期大学校(ポリテクカレッジ)及び都道府県立職業能力開発短期大学校で実施します。技術革新に対応できる高度な知識・技能を兼ね備えた実践技能者を養成することが目的で、生産技術科、電子情

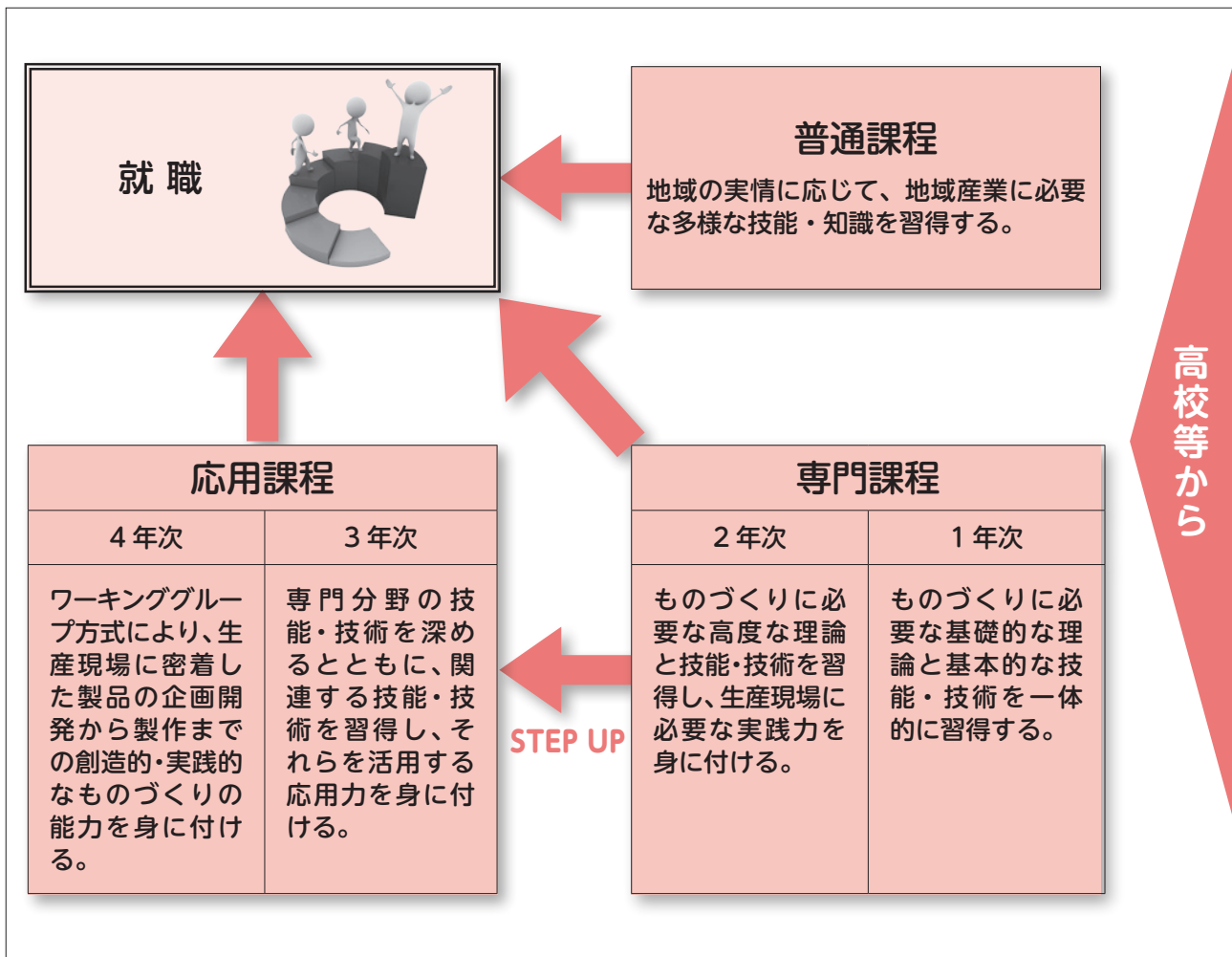
報技術科、電気エネルギー制御科などがあります。訓練期間は2年間です。受講料は、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構で実施する場合、39万円(1年間で別途入校料が必要です。また、都道府県が実施する場合、各都道府県で定めています。

応用課程は、専門課程修了者などを対象に、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構の職業能力開発大学校で実施します。高度な技能・技術や企画・開発能力などを習得し、生産技術・生産管理部門のリーダーとなる人材を育成するのが目的で、生産機械システム技術科や建築施工システム技術科などがあります。訓練期間と受講料は専門課程と同じです。

この訓練では約1万8000人が受講し、就職率は96・8%です(2015年度)。

詳細は、お近くのポリテクカレッジ、各都道府県の訓練施設にお問い合わせください。

図表 学校卒業生向けハロートレーニングを活用した就職までの流れ



© Alexey Afanasyev - Fotolia.com

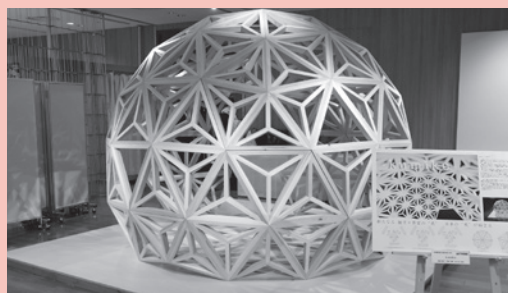
Column

建築コンクールで女子学生が金賞受賞

島根県職業能力開発短期大学校(ポリテクカレッジ島根)の住居環境科1年の島崎希世さん、佐々木智加さん、笠原蒼葉さんは、日本建築学会の「建築文化週間 学生グランプリ2016」に応募し、全39点のなかから最高賞の金賞を受賞しました。

課題は創作茶席で、受賞作「kumiko」は麻模様の直径2.9mのドーム型のもの。釘を使わずに木を組みつける「組子」という装飾技法を用いてつくられています。昨年10月に、東京・銀座通り周辺で開かれたお茶会「銀茶会」で披露・使用され、多くの人から注目されました。

島崎さんは「製作は本当に大変で、難しかったけれど、想像以上に楽しかったです」、佐々木さんは「実際にkumikoのなかで着物を着た方がお茶をたてるのを見たら、すごく感動しました」と話します。笠原さんは今回の経験について、「しんどかったけれど、学生生活でここまで打ち込めるものができてうれしかったです。この経験は、社会に出ても、きっと役立つと思います」と振り返ります。



金賞を受賞した茶席[kumiko]



(左から)佐々木智加さん、島崎希世さん、笠原蒼葉さん

ハロトレ受講生に聞いてみました！

学卒者訓練の受講生やその修了生の声から、ハロトレトレーニングの様子を紹介します。



のりまつ きほ
乗松希帆さん
ポリテクカレッジ浜松
生産技術科2年

尊敬する先生のように 将来は指導する側に

父がものづくりに関する仕事をしていたことで、ものづくりに関心を持ち、工業高校に進みました。卒業後、さらに技術を高めたいと思い、ポリテクカレッジへ入学しました。

オープンキャンパスに参加した際に「工業製品を量産するなら金型が不可欠」と聞いて金型に興味を持ちました。現在は、総合制作として、金型づくりに取り組んでいます。パソコンで3Dモデリングを行い、金型の製作を進めています。私を含め、班員は4人。各自の得意分野を

考えつつ、うまく仕事を振り分けていかなければならず、リーダーとして班をまとめる難しさを感じています。

ここで尊敬できる先生と出会ったので、金型に関する知識を深め、その先生のように指導ができるようになるのが夢です。

生産技術科のなかで、女性は私人。ものづくりは、完成させたときの達成感を一度味わうと、また、挑戦したくなります。女性でも、ものづくりに少しでも興味があれば、その思いを貫いてほしいですね。

集中実習をきっかけに やりたいことが明確に

普通科高校を卒業後、電気自動車に興味があったので入学しました。就職率の高さも、魅力の一つですね。

これまでに電気バッテリーで動くバイクを4月から9月にかけてつくり、1年生・2年生と連続してソーラバイクレースに出場しました。2年生のときには出場した13チーム中8位でしたが、1年生のときよりも改良したことで性能を上げられてよかったです。



きのふみや
佐野文哉さん
ポリテクカレッジ浜松
電気エネルギー制御科
2年

今までで一番印象に残っているのは、1年生の冬に9日間かけて1つの製品をつくる集中実習で、エレベーターを動かす制御盤を作ったことです。サイズは小さいものの、本物と同じような機能を持たせるため、朝から夕方まで先生や友達からアドバイスをもらいながら、取り組みました。とても面白かったこ

の授業をきっかけにエレベーターに関心を持ち、今年の春からはエレベーターのメンテナンスを行う企業で働きます。

ここは学生数が少ないため、先生との距離が近く、わからないことをすぐに聞けるのがいいところ。実技の授業も多く、ものをつくるのが好きな人にはおすすめの学校ですね。

活躍中の声

ポリテクカレッジ修了生の



丸山 誠さん
2014年、近畿ポリテクカレッジ
生産技術科修了

現在、富士金属株式会社の自動プレス課で働いています。主な仕事は、プレス機械を操作して自動車部品の生産や新製品の試作等を行っています。また、海外(インドネシア)で現地の方の技術指導も行っています。

同生産技術科では、製造業で働くために必要な機械の基礎知識に加え、機械加工やNC加工等の実践的な技能も習得できます。丸山さんは「総合制作実習でNC旋盤の製作に積極的に取り組みました。また、技能検定試験に挑戦し合格したことや若年者ものづくり競技大会に挑戦し得た知識・技術、そしてそれを通して学んだ何ごとにも挑戦する精神は、現在の仕事にとっても役立っています」と話します。

上司の声

萩原辰夫さん
担当部長



丸山さんは、基礎が身につけているので、プレス機械加工の幅を広げて国内・海外でも活躍できる大事な人材です。

今後も現場全体のレベルアップを図り、会社の発展に貢献することを期待しています。

指導員インタビュー



山崎 泉さん ポリテクセンター関東居住系

責任もやりがいも大きい仕事

建築に興味があり、職業能力開発総合大学校に進学。女性でも長く続けられる仕事に就きたいと考え、今の仕事を選びました。

離職者向けの「建築CAD・住環境コース」をメインに、在職者向けの能力開発セミナーも担当しています。受講生の多くは建築の仕事が未経験なので、授業中は建築の仕事を身近に感じてもらえるように説明することを心がけています。

受講生が訓練期間をどう過ごすかで、その後の人生が変わる可能性があります。教える側には大きな責任が伴いますが、建築の仕事に就いた受講生から「仕事が楽しい」と言われたり、企業から修了生を高く評価されたりすることでやりがいを得ることができます。人を育てることで、建築業界に貢献できていると感じられるのも、うれしいですね。



湯浅英司さん ポリテクカレッジ浜松生産技術科

地元企業からの期待も背負う

自分が培った技術を人に伝える仕事がしたいと思っていた高校時代に職業訓練指導員になれる学校があると知り、職業能力開発総合大学校への進学を決めました。

働き始めたころは、指導員の役割や責任を漠然としか捉えられていませんでした。そのうち、自分が指導した学生が修了し、遊びに来てくれたときに、「先生のおかげ」と感謝され、学生の人生に大きくかかわる仕事をしているのだと実感しました。

入校してくる学生は工業高校出身の方もいれば、普通高校出身の方もいます。経験も知識もばらばらですが、協力し合い、難しい課題に取り組むことで、彼らの技術も人間性も高まっていきます。

ポリテクカレッジは学生だけではなく、地元の企業からの信頼も高く地域に求められている大学校です。これからも地域の期待に応えるため、頑張りたいと思います。

企業ニーズから訓練カリキュラムを作成し、技術・技能を指導

ハロトレ受講者の多くは、専門スキルを持たない初心者です。しかし、職業訓練指導員(以下「指導員」という)が指導する訓練を受講することで、仕事に必要な技能と技術を習得できます。これは、指導員が専門的な

技能・技術力だけでなく、優れた指導力をもっているからです。また、指導員の仕事は訓練だけではありません。就職を考えている人に対しては、就職支援の担当者と協力し、就労相談などのサポートもします。また、企業の人材ニーズを把握し、必要とされている人材を育成するための訓練カリキュラムを作成するのも指導員の大切な仕事で

す。指導員が時代の変化に対応した訓練を企画・実施し、きめ細かい就職支援を行うことで、訓練生は高いレベルの仕事に挑戦ができます。指導員になるには、国家資格である職業訓練指導員免許を取得しなければなりません(図表参照)。詳細は、各都道府県のホームページでご確認ください。

ハロトレ受講生を一人前に。それが職業訓練指導員の仕事です。

職業訓練指導員ってどんな人？

図表 職業訓練指導員免許を取得する方法

